



広げよう たすけあいの輪

どりーまあ通信

● 第20号 2008年 8月発行 ●

◆特定非営利活動法人◆
どりーまあサービス

〒770-0855
徳島市新蔵町1丁目95番地フジビル5階
TEL 088-626-3237
FAX 088-611-7035
E-mail: npo@dreamer-service.org
発行責任者 山口 浩志

言語共有



理事長 山口 浩志

残暑厳しい折、皆様いかがお過ごしでしょうか。昨年末には、当団体の十周年記念式典を開催させていただきました。多くの関係者の方々をお迎えすることができたことに、改めて御礼を申し上げます。また、本来ならば、これまでにお世話になってきた方々全員をお招きせねばならないところではありますが、本紙面を通して御礼を申し上げさせていただきます。今後は更なる充実を目指してスタッフ一同頑張っているところであります。

さて、十一年目にさしかかった今年は、NPO元年とあって、設立当初のハングリー精神を今一度忘れないようにしていかなければと受け止めております。そういった意味からも、毎年掲げているスローガンを今年は、『言語共有』といたしました。すなわち、スタッフ全員が思いを一致させ、互いの共通言語を持つこと。その上で、行動を共にしていく気持ちを持ちあうことが最も大切な時期ではないかと考えます。その過程で「責任」と「真心」を両輪とした車輪で一丸となって歩んでまいります。

ますます混迷する時代に必要なことは、私たちが建設しようとしている地域福祉を、皆で守っていくんだという気構えではないでしょうか。そのためには、揺るぎない理念で自分たちのやってきたことや、これから為さんとすることを信じて、一人ひとりが

言語共有

言葉に

責任を

行ないに

真心と

大切な土台石であるという認識を共有してゆかねばならないと考えます。そうした意味を込めまして、二十号を発刊させていただきましたが、これからも多くの皆様方のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。ご挨拶にかえさせていただきます。

高次脳機能障害徳島家族会の設立と活動状況について



高次脳機能障害徳島家族会

会長 岩垣 啓路

高次脳機能障害というのは、交通事故や疾病等により脳が損傷し、それが治っても、後までその影響が残る「後遺障害」を指します。

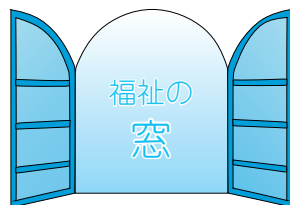
それは、ものを覚えにくい、物事に集中しにくい、優先順位をつけにくい等いろいろあり、社会で一人立ちするのに障害になります。

この障害者は、全国で三十万人と言われ、徳島県下でも、相当数と見られています。

平成十三年から五年間、厚生省(当時)は高次脳機能障害支援モデル事業を全国展開し平成十八年障害者自立支援法を制定しました。

そして、徳島大学病院を、県下の支援拠点センターに指定しました。徳島大学病院では早速昨年三月、六月、十月に、徳島大学長井記念ホールで、「高次脳機能障害支援の研修・交流会」を開催しました。

その会に参加した障害当事者、家族の有志が、十一月二十二日「徳島家族会準備会」を結



成し、世話人を決めました。その後世話人(準備委員)が年末年始にかけて精力的に動き、平成二十年一月二十七日徳島大学病院で「徳島家族会設立総会」を開催しました。

設立総会から七月末までの半年間、役員会を十二回、総会を三回、交流会(大神子キャンプ場)も持ち、当事者、家族の意思疎通も相当進みました。

又、総会での数々の講演、質疑応答も、大変参考のになりました。

先の総会で、この家族会の愛称が「すだち」と、さらに脳外傷友の会への準会員加入も決まりました。県下行政、医療機関等への「要望、質疑等」も集約しています。

県下の会員加入済みの、まだ加入されていない高次脳機能障害者の方々が、一日も早く世間のご理解の上で、社会に出て、一人立ちができるように願って、「徳島家族会」一同地道な活動を続けますので、ご理解御支援の程を。

礎

現場に活かせる研修

当訪問看護ステーションでは、法人内の事業方針に沿い、昨年度より難病患者さんの受け入れを積極的に行ってきた。なかでも、筋萎縮性側索硬化症（以下ALS）の方の受け入れにも力を入れている。

研修レポート

ています。しかし一方では、現場に携わる看護師の間から、これまでに経験したことのない看護をしていることに対し不安の声もあり、今年度はALSの方への看護が充実していけるような内容で研修計画を組むこととなりました。

四、五月は帝人在宅医療

どりーまあ訪問看護ステーション

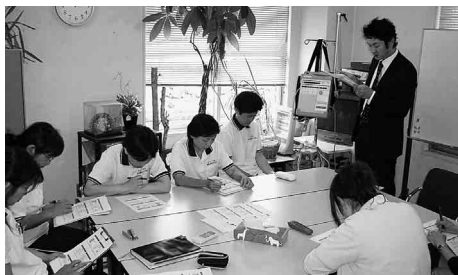
所長

藤代 知美



タイコヘルスケアの方から呼吸器研修を受ける

て頂き、現在の看護に活かすことができている。今後は、呼吸療法、呼吸リハビリ、障害の受容、福祉・医療の制度論、について研修を重ね、少しでも現場のお役に立てるよう努めて参ります。



フジレスピロニクスの方から呼吸器研修を受ける

私たち介護の現場では、利用者さんの歯磨きや義歯の手入れのお手伝いをさせていただく機会がよくあります。そういったこともあり、今回徳島歯科医師会口腔ケア支援センターより、佐藤修齋先生に来ていただき、口腔ケアの意味や清潔の保ち方、義歯の取り扱い、そして歯磨きのポイントなどについて教えていただきました。



介護技術実践研修を受ける風景

ヘルパーステーション

たすけあい

守っておられる歯科の先生ならではの会話やアドバイスを伺うことができました。特に「口腔の清潔を保つことにより、誤嚥性肺炎

介護福祉士

正地 輝美

を予防する」ことの重要性を再認識できたことは、利用者さんの健康を守る上で、大変意義があったと思っています。

「どりーまあ」では、年間十二回のこのような研修会に加え、毎週金曜日のミーティング時にも十分〜十五分でのミニ研修を行い、家庭でできる体操の方法や、介護記録の取り方などのワンポイントレッスンを仲間たちと勉強しあって、日々の介護の実践に役立てています。



口腔ケア研修講師：佐藤修齋先生

徳島市元気高齢者づくり事業

健康21

徳島市内6ヶ所に拠点広がる

平成十九年十一月より始まっている多
家良地区ですが、地
域的には農業が盛ん
なまちです。始まって



「イチ、ニイ、サン」のかけ声が
山あいには響きわたるようです

平成十七年度より内町地区を
皮きりにスタートをきった本事業
ですが、南井上地区、沖洲地
区、不動地区、そして平成十九
年十一月より多家良地区、平成
二十年七月からは六ヶ所目にあ
たる昭和地区が始まりました。
今回は多家良地区と昭和地区の
参加者やスタッフの健康への思
いと奮闘ぶりををご紹介します。

地域に根ざす勢い

多家良地区

多家良公民館

ただ、時期
的に農繁期
にさしかかっ
たりすると、参加人数にも影響が
ありますが、その時はそれぞれに教
室で習った体操を自分たちでして
いると聞きますヨ」とのこと。
着実に多家良地区にも体操の輪
が広がっていることを確信しま
した。

地道に勝るものなし！



体操前の健康チェックも
大切な業務です

からすでに十ヶ月
が過ぎていますが、
参加者のひとりでもあり、公民館長
でもある松崎茂さんに、始まってか
らこれまでの感想をお伺いすると、
「この辺りの人は教室が始まるまで
にも、それぞれにウォーキングやラ
ジオ体操などで自分たちで健康管理
はしていたようですが、体操教室に
参加するようになってからは、体調
がすこぶるいいと聞きますねえ。

指導員さん集う



指導員スタッフ
(上段右から) 吉田さん 中村さん
(下段右から) 美馬さん 吉永さん 泉さん
月1回開いている指導員ミーティングにて
(於：どリーまあ会議室)

この事業の要
である体操指導
員さんたちで
す。少しでも参
加して下さる各
地区の人たちの
ために日夜情報
を集め体操方法
やレクリエー
ションメニュー
などについて話
し合っています。

体操指導員 募集中

～私たちと一緒に
活動してみませんか～

昭和地区

～昭和コミュニティセンター～

＝2008年7月開所＝

平成二十年七月より、どリー
まあとして六ヶ所目にあたる昭和
地区での体操教室が始まりまし
た。三ヶ月間は徳島大学応用生理
学研究室(三浦哉先生)からの指
導期間です。すでに参加者とスタッ
フとのコミュニケーションは息
もピッタリで、参加の申し込みも
徐々に増え
ております。
現在参加されているSさんは、
「実は五十肩で右肩が上がり
にくくて悩んでいたところ、
今回の体操教室の話をいただ
いたんですヨ。病院で診ても
らってはいませんが、自分でも
何か取り組みたかったところ
だったので、今回は期待して
いるんです。」との意気込み

地域からの期待高まる

の声を聞か
せていただ
きました。
それぞれに
今回の体操
教室参加へ
のきっかけ
や目的があ
ろうかと思
いますが、地
域の皆様のお役に少しで
も立てられるよう、私たちも共に取り
組んでまいります。

はじめの第一歩



チューブを使って熱心に体操する
参加者の皆さん



昭和地区担当者
右から看護師田中さん、
同高木さん、指導員美馬さん

ビス10周年記念式典

10th
anniversary

平成19年12月8日
於：東急インホテル



里見光一郎副知事様より
ご挨拶をいただく

各分野から参加される

当日は県内外から約百名のご参加

をいただくことができました。県内からは、県や市町村から行政関係者や県議会議員の先生、各地域民生委員会会長さん、医療・福祉関係者、そしてNPO関係者等、また、県外からも、さわやか福祉財団地域プロジェクトリーダー木原勇様



職員とともに代表山口の挨拶

去る平成十九年十二月八日(土)、東急インホテルにて『どリーまあサービス創立十周年記念式典』を企画し、盛大に開催することができました。今回は紙面をお借りいたしましたので、その時の様子をご報告させていただきます。

域力

NPO

地域

医療

福祉



お世話になっている地区民生委員の方々への感謝状を送らせていただく

苦難の道を駆ける

を始めとするNPOのリーダーの方々によって、祝っていただきました。会に先立ち、「どリーまあサービスのこれまでの軌跡」と銘打つ、活動記録の写真が映し出され、当初からの足跡をたどってみました。その

点から線、線から面が
立体へと続く



牧田久美馬市長様より
ご挨拶をいただく

に来賓としてご参加いただきました方々の中から、まず里見光一郎副知

後、スタッフと共に代表者山口浩志が登壇し、集まられた方々や、これまでにお世話になってきた方々に対しまして、感謝とお礼の言葉を申し上げます。次



原秀樹徳島市長様より
ご挨拶をいただく

20年への ステップ



小児看護の礎を教えてくださいました瀧龍治クンへ
感謝のことばを藤代所長から送る

その後、木原勇様より、北欧の福祉事情とこれからのNPOのあ

として感謝状と記念品を贈らせていただきました。また、ヘルパー大塚豊子さんとボランティア協力会員住本弘明さんへは永年勤続賞として賞状と記念品を贈らせていただきました。

つながりの力よ永遠に

次に各地区民生児童委員の代表の方へは、立ち上げ当初から大変お世話になってきたお礼の気持ち



木原勇様記念講演

事様、原秀樹徳島市長様、牧田久美馬市長様などからのお祝いのお言葉を頂戴しました。また県議会議員長尾哲見先生からも激励のお言葉を賜りました。



10周年式典懇談の様子

企業

学術

保健

行政

地域

会では、参加されたそれぞれの方々同士、互いに交流を深められたり、長年会ってなかった人同士で懐かし話にとりこ

これから周囲からの支えに 感謝しながら進む

いりたいと決意いたしております。



県議会議員長尾哲見様より1本締め音頭

り方などに関するミニ講演をいただき、参加された方々も熱心に聞かれていました。
式典は第2部へと移り、まず日本赤十字社徳島支部前事務局長の鎌田啓三様より乾杯のご発声をいただき、祝宴に入りました。懇親

新たな出会いの幕開け

ろで花が咲いていたり、素晴らしい時間を送ることができたと自負しております。

これからまた、次の二十周年に向けて歩み出しているところでありますが、これまでのご恩と、これからの地域からのご期待をいつも忘れることなく、懸命に邁進してま



鎌田啓三様より乾杯音頭

懸け橋の向こうに

先進地訪問

昨今、「地域福祉」「住民協働」など叫ばれて久しい今日この頃ですが、近くの関西圏では様々な取り組みがあり、活発に動いています。この紙面では、これまでにめざましく町の福祉を支え変えてきた、稲美町（兵庫県）と余呉町（滋賀県）での視察を通して、地域福祉先進県の取り組みをご紹介します。

ひなたんぼ小規模多機能ホーム ～兵庫県加古郡稲美町～

明石海峡大橋を渡り、第二神明自動車道に入り、そこから車で約三十分ほどのところに、見渡す限り田園風景の稲美町があります。景色の上では、わが徳島のまちは変わればえしないのですが、地域福祉への取り組みに関しては、かなりレベルの高いまちでした。

ここ稲美町は全国でも珍しく、社会福祉協議会が運営する、訪問看護ステーションや療養通所介護があり、更には小規模多機能ホームを新設されたと聞き、どりーまあのスタッフと徳島県社会福祉協議会から佐伯

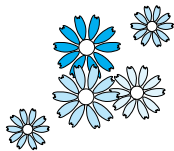
く、社会福祉協議会が運営する、訪問看護ステーションや療養通所介護があり、更には小規模多機能ホームを新設されたと聞き、どりーまあのスタッフと徳島県社会福祉協議会から佐伯



小規模多機能ホームの全景

住民の人たちと一緒に 設計から考えてきましたヨ!!

明彦次長様とで視察研修に行っていました。そこには、これからの徳島が目指すべき第一歩がみえました。



「ひなたんぼ」玄関前にて

感動の空間

滋賀県余呉町

日（二十四日）に、福井県敦賀市での高橋紘士先生の講演聴取を皮きりに、余呉町内で民家改築にて福祉空間整備事業で成功された取り組みの現場を視察させていただきました。

滋賀県は平成十二年の頃から民家や空き工場など、地域の～今ある資源を活かしたまちづくり～



外観はごく普通の民家でした

このまちのキーワードは『智慧』だった

空いている社会資源の活用が原則として進められてきたようです。



家庭の延長の場で友だちとゆったりと過ごされる様子

原点は住み慣れたまちで暮らし続けることです

介護保険スタート時から、全国的にそれぞれのまちの戦略によって違いが現れ、福祉の特色が描かれてきました。今後、自分たちの住むまちづくりには、住民として、事業所として、先進的な取り組みを模範とし、積極的に進めていかねばと確信いたしました。



高橋紘士先生と余呉町やまなみセンターを視察

自らを磨く

はじめまして

介護業界から
離れ、自分は何
をしたいの
かが解らな
いで迷って
いた時、山
口代表から
電話が鳴り
ました。ま
さにグッド
タイミングの電話でし
た。他のお誘い下さつ

どリーまあサービス統括部長
ケアマネージャー

脇川 玄さん

実感し、日々感動しながら
業務にはげんでいます。一
度離れてみると介護に
携わる仕事の素晴らし
さをしみじみと感るこ
とができます。
これからも、この仕
事に携わっていただける楽
しみを忘れ
ることなく
頑張ってい
きたいと思っておりますので、

「毎日が勉強です!!」

今までお付
き合いのあつ
た方、また、

「混迷の時代だからこそ
夢を描きたいんですよ!!」

た事業所様には大変申し訳
ありませんが、「もうそろ
そろこっちに帰ってきた
ら?」の山口代表の言葉に
心が動き復帰を決めまし
た。
今現在、どリーまあ徳島
のケアマネージャーとして
業務しています。ご利用者
のお宅に訪問し、サービ
スの提案や苦情・相談など



現場の日々の記録は
次への重要な資料になる

「こんにちは、
どリーまあサービ
スです!」と挨拶
をして利用者さん
のお宅を訪問させ
ていただくように
なつて一ヶ月が過
ぎました。
最初はただ無我
夢中で、ふと我に
返った時には自信

ヘルパーステーションたすけあい
サービス提供責任者

齋見富美子さん



在宅でご利用者の相談に
耳を傾ける脇川ケアマネ

「利用者様は全てが人生の師です」

「事業所内は活気があつて
働きがいがあります!!」



定期的に介護計画の見直しを
スタッフと話し合っている様子

「利用者様は生き方のお手本です♡」



「明るく、元気に」を
モットーとしています

う精一杯頑張ってみようと
思っています。
こんな私ですが今後とも
よろしく願います。

活 動 報 告

平成20年度

内部会議

- 4/16 看護運営会議
- 4/22 事務ミーティング
- 4/25 看護ケースミーティング
職員研修会（内容：介護技術の習得～実践研修～、
講師：川瀬のり子先生、於：旭木エショールーム）
- 4/26 ヘルパーサブリダーミーティング
- 4/28 ケアマネミーティング
- 4/30 人事強化ミーティング（於：森本社会保険労務士事務所）
- 5/12 ケアマネミーティング
- 5/13 どりーまあ運営会議、レセプトミーティング
- 5/14 看護ケースミーティング
- 5/19 ケアマネミーティング
- 5/21 看護ケースミーティング
- 5/22 県立看護専門学校看護実習打ち合わせ会
（看護学校村尾先生来訪、於：どりーまあ事務所）
事務ミーティング
- 5/26 ケアマネミーティング
- 5/28 看護ケースミーティング
- 6/2 ケアマネミーティング
- 6/4 看護ケースミーティング
- 6/7 ヘルパーサブリダーミーティング
- 6/9 ケアマネミーティング、看護実習開始
- 6/10 どりーまあ運営会議
- 6/11 看護ケースミーティング、看護運営会議
- 6/12 どりーまあサービス法人理事会
- 6/16 ケアマネミーティング
- 6/17 会計ミーティング（原顧問会計士指導）
レセプトミーティング
- 6/19 事務ミーティング
- 6/21 ヘルパーサブリダーミーティング
- 6/23 ケアマネミーティング
- 6/25 コンプライアンス勉強会（松原顧問弁護士指導）
- 6/26 レセプトミーティング
- 6/27 どりーまあ経営会議（原・森本・島 各顧問による経営指導、
於：どりーまあ事務所）
- 6/30 ケアマネミーティング
- 7/8 ケアマネミーティング、会計ミーティング（原顧問会計士指導）
- 7/15 「情報の公表」準備会議（介護の部）
- 7/16 「情報の公表」準備会議（看護の部）、看護ケースミーティ
ング、看護運営会議
- 7/17 「情報の公表」準備会議（居宅の部）、ケアマネミーティング
- 7/19 ヘルパーサブリダーミーティング
- 7/23 看護ケースミーティング

内部研修

- 5/1 パソコン講習（内容：パワーポイントの使い方、
講師：徳大工学部院生加藤先生）
- 5/7 看護研修会～呼吸器セミナー～（講師：フジレスピロニクス 出葉淳氏）
- 5/22 看護研修会～呼吸器セミナー～（講師：タイコヘルスケア 石原氏）
- 5/28 看護研修会～呼吸器セミナー～（講師：フジレスピロニクス 出葉淳氏）
- 5/30 職員研修会 口腔ケアの基礎知識
（講師：佐藤修斎先生 於：ふれあい健康館）

外部会議

- 5/16 退院前カンファレンス（於：伊月病院）
- 7/18 退院前カンファレンス（於：徳島大学病院）

外部研修

- 4/18 徳島赤十字病院医療講演会（於：同病院内）
- 4/26 コーチングセミナー（於：ふれあい健康館、内容：「質問と承認」）
- 5/15 難病患者ネットワーク会議（於：徳島保健所）
- 5/27 徳島市包括支援センター主催 居宅介護支援事業所研修会
（於：徳島市医師会館）
- 6/13 民間ヘルパーステーション・訪問看護ステーション合同研修会
（内容：コーチングセミナー～質問のコーチング技法、於：ふれあい健康館）
- 7/12 平成20年度介護予防ケアマネジメント研修
（於：健祥会プレゼンテーション、協川、山野参加）

対外活動

- 4/4 徳島緩和ケア研究会役員会（於：徳島大学病院）
- 4/5 県社会福祉士会相談活動委員会運営会議
スモン患者・家族の会参加（於：県立障害者交流プラザ）
- 4/18 県立中央病院地域連携室うずの会世話人会
- 4/23 グループホーム評価調査員連絡会議（於：県総合福祉センター）
- 5/1 県社会福祉士会相談活動委員会運営会議（於：県総合福祉センター）
- 5/16 阿波徳島ロータリークラブ外来卓話（内容：緩和ケアの実践、
於：阿波観光ホテル）
- 5/20 ケアマネ協会業務委員会（於：論田病院）
- 5/22 県社会福祉士会理事会
- 5/25 県社会福祉士会総会
- 5/29 高次脳機能障害徳島家族会（於：徳島大学病院）
- 6/1 ALS患者友の会総会（於：県立障害者交流プラザ）
- 6/10 徳島緩和ケア研究会編集委員会（於：徳島大学病院緩和ケア室）
- 6/14 県社会福祉士会相談活動委員会議
- 6/27 県立中央病院地域連携室うずの会世話人会（於：県立中央病院）
- 6/30 第4期徳島市介護保険事業計画及び保健福祉計画第1回策定委員会
（於：徳島市役所庁議室）
- 7/3 ケアマネ協会組織運営委員会会議（於：県立総合福祉センター）
- 7/4 徳島市包括支援センター運営協議会会議（於：徳島市医師会館）
- 7/9 徳島緩和ケア研究会セミナー準備会
（於：徳島大学病院緩和ケア室）
- 7/13 徳島緩和ケア研究会特別セミナー
「がんを知って歩む会」の基本的考え方とすすめ方
（講師：季羽しずこ先生 於：県立中央病院）
- 7/22 ケアマネ協会組織運営委員会セミナー準備会
（於：どりーまあ事務所）
- 7/24 高次脳機能障害徳島家族会（於：徳島大学病院）
県社会福祉士会理事会（於：県総合福祉センター）

講義活動

- 5/28 全身性障害者ガイドヘルパー講義
（於：徳島介護労働安定センター）
- 6/5 徳島大学総合科学部「ボランティア論」講義
（於：徳島大学総合科学部）
- 6/6 どりーまあヘルパーミニ講義（対話の技法）
- 6/11 難病ホームヘルパー講義
（徳島介護労働安定センター主催、於：ふれあい健康館）
- 6/12 徳島大学総合科学部「ボランティア論」講義（於：徳島大学総合科学部）
- 7/31 徳島大学総合科学部「ボランティア論」講義（於：徳島大学総合科学部）

親切・丁寧に対応いたします

原公認会計士事務所

〒772-0003 鳴門市撫養町南浜字東浜395番地
T E L (088)686-5181
F A X (088)686-5183

森本社会保険労務士事務所 & ヒューマン・マネジメント研究所

労働保険・社会保険の事務処理代行
人事労務コンサルタント・賃金コンサルタント

〒770-0023
徳島市佐古三番町15番11号 ステーションハイツ1F
T E L (088)656-0393
F A X (088)654-0989

松原法律事務所

弁護士 松原健士郎

〒770-0855 徳島市新蔵町1丁目93番地 和泉ビル5 階

T E L (088)625-8505

F A X (088)622-9455